

# 長崎経済同友会 台湾視察団報告書

平成28年4月25日(月)～27日(水)



チャイナエアラインにて

平成28年5月  
長崎経済同友会  
国際交流委員会

## ■ 目 次 ■

台湾視察団参加者名簿 .....	2ページ
台湾視察スケジュール .....	3ページ
視察目的 .....	4ページ
1. チャイナエアライン訪問 .....	5ページ
2. マンダリン航空訪問 .....	8ページ
3. タイガーエア台湾訪問 .....	11ページ
4. 雄獅(ライオン)旅行社訪問 .....	15ページ
5. 可樂(コーラ)旅行社訪問 .....	19ページ
6. 台湾経済界との夕食会 .....	22ページ
7. 視察を終えて.....	23ページ

※ 別冊 「台湾関係資料(長崎経済同友会国際交流委員会台湾視察)」

長崎経済同友会国際交流委員会主催 台湾視察参加者名簿

視察日：平成28年4月25(月)～27日(水)

No.	氏名	団体役職等	会社名・役職
団長	宮脇 雅俊	(一社)長崎県観光連盟 会長 長崎経済同友会 代表幹事	(株)十八銀行 代表執行役会長
Head of the delegation	Mr. Masatoshi Miyawaki	Chairman, Nagasaki Prefecture Convention and Tourism Association Chairman, Nagasaki Association of Corporate Executives	Chairman, The Eighteenth Bank, Limited
2	坂井 俊之	長崎経済同友会 代表幹事	協和機電工業(株) 代表取締役会長
	Mr. Toshiyuki Sakai	Chairman, Nagasaki Association of Corporate Executives	Chairman, Kyowakiden Industry Co., Ltd.
3	平松 喜一郎	長崎経済同友会 副代表幹事	松藤グループ((株)エムエスケイ) 顧問
	Mr. Kiichiro Hiramatsu	Vice Chairman, Nagasaki Association of Corporate Executives	Adviser, Matsufuji Group(MSK Co., Ltd.)
4	中牟田 真一	長崎経済同友会 副代表幹事	(株)浜屋百貨店 代表取締役会長
	Mr. Shin-ichi Nakamuta	Vice Chairman, Nagasaki Association of Corporate Executives	Chairman, Hamaya Department Store
5	山田 晃	長崎経済同友会 国際交流委員会 委員長	山電(株) 代表取締役
	Mr. Akira Yamada	Chairman, International Exchange Committee Nagasaki Association of Corporate Executives	President, YAMADEN Co., Ltd.
6	篠原 俊一	長崎経済同友会 総務委員会 委員長	(株)長崎経済研究所 代表取締役社長
	Mr. Shun-ichi shinohara	Chairman, General Affairs Committee Nagasaki Association of Corporate Executives	President, Nagasaki Economic Reserch Institute
7	木戸 郁徳	長崎経済同友会 国際交流委員会 副委員長	住友商事九州(株) 長崎支店 取締役支店長
	Mr. Ikuho Kido	Vice Chairman, International Affairs Committee Nagasaki Association of Corporate Executives	Director General Manager Sumitomo Corporation Kyusyu Co., Ltd. Nagasaki Branch Office
8	塚本 敏	長崎経済同友会 国際交流委員会 副委員長	製缶陸運(株) 代表取締役社長
	Mr. Satoshi Tsukamoto	Vice Chairman, International Affairs Committee Nagasaki Association of Corporate Executives	President, SEIKAN Transportation Co., Ltd.
9	中村 昭彦	長崎経済同友会 県内地域交流委員会 副委員長	長崎空港ビルディング(株) 代表取締役社長
	Mr. Akihiko Nakamura	Vice Chairman, Prefecture Local Exchange Committee Nagasaki Association of Corporate Executives	President, Nagasaki Airport Building Co., Ltd.
10	川西 弘二	長崎経済同友会 地方分権を考える委員会 副委員長	長崎ジーエス(株) 代表取締役社長
	Mr. Koji Kawanishi	Vice Chairman, Committee to Consider The Decentralization Nagasaki Association of Corporate Executives	President, NAGASAKI GS Co., Ltd.
11	渡辺 泰輔	長崎経済同友会 まちづくり委員会 委員	長崎総合鑑定(株) 取締役会長
	Mr. Taisuke Watanabe	Member, Town Planning Committee Nagasaki Association of Corporate Executives	Chairman, Nagakisogokantei Co., Ltd.
12	殿村 周三	長崎経済同友会 県内地域交流委員会 委員	(株)カステラ本家福砂屋 専務取締役
	Mr. Shuzo Tonomura	Member, Prefecture Local Exchange Committee Nagasaki Association of Corporate Executives	Executive Vice President, FUKUSAYA Co., Ltd.
13	武田 隆光	(一社)長崎県観光連盟 専務理事	
	Mr. Takateru Takeda	Executive Director, Nagasaki Prefecture Convention and Tourism Association	
14	浦 真樹	長崎県文化観光国際部観光振興課 課長	
	Mr. Masaki Ura	Director, Tourism Development Division, Culture, Tourism and International Affairs Department, Nagasaki Prefectural Government	
15	内藤 政則	長崎県文化観光国際部観光振興課 課長補佐	
	Mr. Masanori Naito	Assistant Director, Tourism Development Division, Culture, Tourism and International Affairs Department, Nagasaki Prefectural Government	
16	松島 勝久	長崎県文化観光国際部観光振興課 係長	
	Mr. Katsuhisa Matsushima	Section Chief, Tourism Development Division, Culture, Tourism and International Affairs Department, Nagasaki Prefectural Government	
17	吉岡 舞子	長崎空港ビルディング(株) 企画経理部経営企画課 主任	
	Ms. Maiko Yoshioka	Senior Staff, Nagasaki Airport Building Co., Ltd. Management Plan Sect Corporate Planning Dept.	
18	三縄 周治	長崎経済同友会 事務局長	
	Mr. Shuji Minawa	General Manager, Secretariat Nagasaki Association of Corporate Executives	
19	荒木 義文	長崎経済同友会 事務局次長	
	Mr. Yoshifumi Araki	Deputy General Manager, Secretariat Nagasaki Association of Corporate Executives	
添乗員	西牟田 克則	(株)JTB九州 長崎支店 営業課長	
Tour Conductor	Mr. Katsunori Nishimuta	Sales Manager, JTB Kyushu Co., Ltd.	

長崎経済同友会 台湾視察行程スケジュール

長崎経済同友会事務局

		現地時刻	交通機関	視察等内容	備考
4/25 (月)	長崎	6:30	バス	貸切バスで福岡空港へ出発	新地バスターミナルホテルに集合
	福岡	9:00		福岡空港集合	
		9:30		団結式(空港内レストラン)	
	福岡	10:55	CI111	福岡空港 発	機内で昼食
		12:30		台北桃園空港 着	
	桃園空港付近	13:30	専用車	チャイナエアライン訪問	桃園空港近く
		14:30			
	台北	15:30	専用車	マンダリン航空訪問	松山空港近く
		16:10			
	台北	16:20	専用車	タイガーエア訪問	松山空港近く
		17:00			
	台北	17:30	専用車	ホテル ザ・シャーウッド台北 チェックイン	
		18:30	専用車	夕食会	
	台北	20:00		(ホテル パレ・デ・シン17F)	
		専用車			
台北			ホテル ザ・シャーウッド台北 宿泊		
		現地時刻	交通機関	視察等内容	備考
4/26 (火)	台北	08:30		ホテル 出発	
	台北	09:00	専用車	市内視察	
		11:30		(故宮博物院、忠烈祠)	
	台北	12:00	専用車	昼食(郷土料理)	
		13:00			
	台北	13:30	専用車	雄獅(ライオン)旅行社訪問	
		14:30			
	九份	16:00	専用車	市内視察	
		18:00		(九份老街)	
	台北	19:30	専用車	夕食	会場:レストラン「101欣葉」
20:30					
台北		専用車	ザ・シャーウッド台北 宿泊		
		現地時刻	交通機関	視察等内容	備考
4/27 (水)	台北	08:30		ホテル 出発	
	台北	10:00	専用車	可楽(コーラ)旅行社訪問	故宮博物院観光または自由行動か
		11:00		昼食、三井アウトレットモール視察	
	台北	14:30	専用車		
		16:45	CI116	台北桃園空港 着	
	福岡	20:00		福岡空港着、解団式	
	長崎	23:00頃	バス	長崎バスターミナルホテル着	

## 視察目的

長崎版 DMO 設立、長崎空港24時間化に向け、これまで十分な誘客活動が出来なかった台湾で、有力航空会社、大手旅行会社に対し定期航空路開設及び観光客誘致の要望活動を行うとともに現地経済界等との意見交換や観光関連施設の視察を行う。

### 1. チャイナエアライングループ3社訪問

- ・アジアの活力を本県に取り込み経済的実利を得ていくうえで、台湾の活力を本県に引き込むことは重要な課題(「県アジア・国際戦略」)。
- ・現在、長崎の経済界の主導で長崎空港24時間化を進めており、旅客と貨物の両にらみで長崎空港に就航してもらおう航空会社がないかチャンスを模索中。
- ・チャイナエアライングループ各社に対して長崎空港へ定期で就航してもらおう意向(需要)があるのか、福岡空港の発着枠の関係で長崎空港を選んでもらうチャンスがあるのか、セールスを行い、可能性を模索する。

### 2. 台湾大手旅行社2社訪問

- ・本県への観光客送客に影響力をもつ雄獅(ライオン)旅行社と可楽(コーラ)旅行社に対して、これまでの誘客に対してお礼を申し上げる。
- ・台湾の旅行者の最近の需要動向について旅行社側の状況分析を伺い、現在は震災により九州への来訪に影響もでているが、いずれは終息することから、影響が落ち着いた後の積極的な誘致策につなげる。
- ・今回のエアラインへの定期路線誘致の働きかけについてお知らせするとともに、定期路線が開設された際には、送客に一層のご協力をいただきたい旨お願いする。  
(県、県観光連盟の支援策としては旅行商品とのタイアップ誘客宣伝に対する支援策等があげられる)

### 3. 台湾経済界等との意見交換

- ・長崎経済同友会のカウンターパート組織として、現地の日本商工会議所に相当する団体である「中華民国工商協進会」関係者および現地の日本国総領事館に相当する「(公財)交流協会」関係者との意見交換を図る。

## 1. チャイナエアライン訪問

日時 平成28年4月25日(月) 13:30~14:30

場所 桃園縣大園郷航空南路1號Q5樓

相手方	副社長	董 孝行(トウ コウコウ)
	副社長 営業担当	張 志潔(チョウ シケツ)
	副社長 営業担当	曹 志芬(ソウ シフン)
	部長 運航計画担当	呉 友仁(ゴ ユウジン)
	部長 運航収入担当	曾 煜屏(ソ リツヘイ)
	部長 運航管理	張 瑞玲(チョウ エイレイ)

### ○宮脇団長挨拶(要旨)

- ・チャイナエアラインは、台湾のナショナルフラッグキャリアとして、長崎県への台湾からの観光客送客にご尽力いただいていることに厚く御礼を申し上げます。熊本県を中心とした地震災害にも温かいご支援を頂いており、大変感謝いたします。
- ・福岡空港と長崎空港は約1時間半程度と大変近い距離にありますので、空港24時間化を契機として新定期路線を検討いただけるのであれば、十分先行メリットが受けられるのではないかと考えています。長崎は、日本の鎖国時代から世界に開かれた唯一の港として、市民・県民は誰に対してもどこの国に対しても、オープンマインドです。鄭成功氏の母の出身地である長崎県に台湾からの定期路線が無いことは大変残念です。
- ・長崎空港24時間化を何としても実現化するので、この機をとらえて是非定期路線の開設をご検討願いたいと思います。定期航空路線化にはどのような問題があるのか、忌憚のないご意見とご助言をいただければと思います。
- ・本日の訪問が、今後の長崎県と台湾との交流拡大への一歩となるよう、また御社の益々のご発展と皆様方のご健勝を祈念して、訪問のご挨拶といたします。



### ○董副社長挨拶

- ・地震対応等のご多忙にも関わらず、弊社までお越しくださしまして誠にありがとうございます。現在、弊社は九州において、4つの就航都市があります。一日も早く九州の皆さんの回復をお祈りいたします。営業の面に関しては、担当から皆さんにご報告したいと思いますので、よろしくお願ひします。

### ○張副社長説明(要旨)

- ・私は8年前、九州の支店長として日本にいました。現在の台湾と日本で弊社が運用しているのは、毎週約200便です。その中の24便が九州です。福岡、熊本、宮崎、鹿児島島の4つの空港であり、座席数は年間約30万席を提供しています。
- ・長崎と台湾にはご縁があって、鄭成功は長崎の出身だと聞いています。当地では台湾から移住している漁民も住んでいると聞いています。中国大陸から長崎への観光客人もこの数年間でとても増加し

ていると聞いています。

- ・最近では熊本の地震で、少し台湾と九州の間でお客様の人数に影響が出ていますが、絶対長期間の問題ではないと思っています。
- ・定期便の可能性については、とても可能性が高いと思っています。これから弊社としては、サービスの向上と便数・座席数を増加しなければならないと思っています。
- ・これから双方の交流はますます盛んになっていくでしょう。今回のきっかけで、将来台湾と日本の人民の交流は、ますます深まることと信じています。

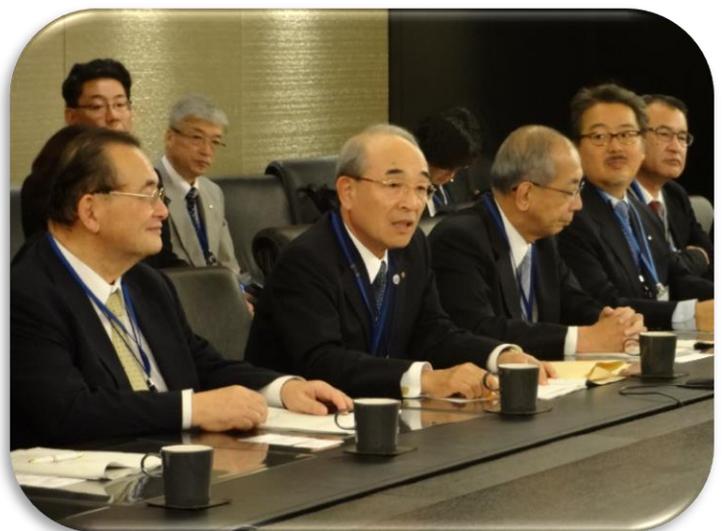


#### ○曹副社長説明(要旨)

- ・私はマーケティングと台湾の計画を担当しています。弊社の日本への就航都市は15あり、九州では長崎に近い都市として、既に福岡や熊本があります。もし、新しい就航都市を増やしていきたい場合に、まず考えないといけないのは、お客様の人数が足りるかということです。今まで、長崎との間はチャーター便を運航していましたが、その便数は8便(2012年実績)で、多くありません。また、主に夏休み等イベントが高い時期しか運行しておりませんでした。
- ・定期便で計算すると年間100便を飛ばさないといけません。先程の実績からすると、お客様の人数は足りません。もし将来定期便にする場合は、夏休み以外の期間ももっと飛ばさないといけません。
- ・チャーター便数をある程度固めて、次のステップは定期のチャーターになります。定期チャーターである程度お客さんを固めて、そして次は定期便化の目標に向っていけると思います。
- ・また、台湾からのお客さんだけでなく、日本からのお客さんにもそういうイベントを作らないといけません。
- ・一つの新しいルートを開設したら、もっと長く運営し発展させたいと思っています。台湾だけでなく、日本の皆さんにも是非チャーターの販売に力を貸していただきたいと思っています。

#### ○意見交換(要旨)

- Q:チャーター便からはじめて定期チャーター便、そして定期便ということだが、台湾から日本へのチケットの販売も含めての努力ということか。それとも日本人の台湾への集客ということか。
- A:両方ともだ。過去の実績からすると、チャーター便のほとんどは台湾から日本に行ったお客様だ。やはりこちら側からすると、台湾からだけでなく長崎からもお客様を送っていただきたい。台湾からお客様を送るだけでは定期便にならないので、できれば両方でがんばってきたい。



Q:今一番先に長崎に対してこうして欲しいという要望があれば、具体的に教えて欲しい。

A:台湾の業者とお客さんにPRが必要なことは、長崎空港を利用したらどんなメリットがあるのか、観光の場所はどこが一番魅力的か、他の場所と違った良いところは何か、等だ。業者に提供する条件もいい方が、台湾の業者もどんどん売ってくれるから、そういう面も含めて考えていただきたい。できれば、自分の社員達に台湾の良いところをPRして欲しい。例えば、インセンティブのグループが台湾に遊びにくるとか、ミーティングを台湾で開催するとかだ。

・弊社のお客さんの5割は台湾の方で、4割は日本人のお客さんだ。定期便化するためには、お客様を作らなければならない。台湾に弊社はある程度の力を持っているが、皆さんの力は欠かせない。

・これから長崎のことは、弊社の福岡支店が担当すると思うが、業者とのコミュニケーションとか、新しいお客さんを開発するとか、いろんな面について是非皆さんのお力を借りたい。長崎はとても魅力のある所なので、それ程心配はしていないが、皆さんの力は欠かせないと思う。現時点はチャーター便しかないが、すぐにでもお互いの提携を始めたいと思う。

#### ○坂井代表幹事挨拶

・本日は大変忙しい中に貴重な時間をお取りいただきましてありがとうございます。

・長崎県は、製造業で盛り上げようと今日まできておりましたが、今長崎は観光で盛り上げよう、製造業から観光業を中心とした長崎県づくりという形で、経済団体も一生懸命観光業を盛り上げようと、がんばっているところです。

・そういう中で台湾からの定期便が無いということは我々にとって大変大きな問題だと感じております。これをどうにか解決するのが我々の役目だと考えています。

・経済界は馬力を持って進めて参りますので、どんどん要望を言っていただきますと、我々なりに頑張ってお期待に添うようにやりますので、是非定期便をよろしく願います。



## 2. マンダリン航空訪問

日 時 平成28年4月25日(月) 15:30～16:00

場 所 台北市敦化北路405号123巷3弄

相手方 副社長 張 酉光(チョウ ユウコウ)  
営業本部長 林 弘基(リン コウキ)  
航空路線担当者 徐 正權(ジョ セイコン)  
航空路線担当者 姜 紀中(カン キチュウ)

### ○宮脇団長挨拶(要旨)

- ・熊本県を中心として地震災害に見舞われています。台湾の皆様からは暖かいご支援を頂いており、誠にありがとうございます。地震は少し長引きそうな気配がありますが、徐々に余震も落ち着いてきていて、交通・インフラを中心に復興活動が始まっています。九州新幹線は4月28日から高速自動車道も4月末には全面開通する見込みです。
- ・今回の訪問目的は、私達長崎経済同友会が長崎県の経済活性化のために取り組んでいる長崎空港の運用時間延長に関連します御社の長崎への定期航空路線就航について、その可能性があるのかどうか、忌憚のないご意見・ご助言をうけたまわることです。
- ・マンダリン航空は、台中市を拠点としたフルサービスキャリアとして、特に近年チャーター便の運航において、長崎県への台湾からの観光客の送客に並々ならぬご尽力をいただいていることに、厚く御礼を申し上げます。
- ・本日の訪問が、今後の長崎県と台湾との交流拡大の着実な一歩となりますよう、また、御社のますますのご発展と皆様方のご健勝を祈念いたしまして訪問のご挨拶といたします。



### ○張副社長挨拶(要旨)

- ・マンダリン航空にご来社いただきまして誠にありがとうございます。熊本地震に関しましては、早く回復できるようお祈りいたします。
- ・マンダリン航空はこの2～3年間、チャーター便を何便も飛ばしています。チャーター便の就航は、やはり旅行シーズンになります。例えば、桜・花見、あるいはもみじなどのシーズンによく飛ばします。
- ・弊社は、中華航空の子会社です。中華航空およびマンダリン航空は、九州では、北九州から南九州まで既に定期路線があります。弊社は定期航路だけでなく、チャーターも重要視しています。
- ・長崎県には観光スポットが一杯あります。近年、日本の観光に関してお客様が積極的ですので、日本向けの観光客は歓迎しています。東京・大阪の方に行くと、旅館やホテルやバスが足りないといったトラブルをよく聞きましたが、九州を旅行するお客さんからは、そうしたクレームは一切聞いていません。将来、旅行シーズンに応じたチャーター便を積極的に取り組んでいきたいと思ひますし、長崎の皆さんのお力も借りていきたいと思ひます。
- ・飛行機を飛ばすにはコスト・費用がかかりますので、日本の他の航空会社では補助をもらっているそうです。可能であれば、長崎空港や政府から補助をいただきたいと思ひています。

### ○長崎県の回答

- ・機材の調達費用に対する助成、お客様を送客してもらう場合の人数に応じた支援、また空港の着陸料に相当する額の支援など、そうした支援については、これからもご相談させていただきたい。

### ○林営業本部長説明(要旨)

- ・補助金に関しては、ほとんど台湾からのチャーター便が多かった。長崎から台湾へお客さんを送ることが少ないので、復路のチャーター便は航空会社にとっては大きな負担になります。日本には多くの観光客が行っているため、各空港や色々な場所から補助金があります。補助金については、こちらも詳しく相談していきたいと思っております。

### ○張副社長説明(要旨)

- ・定期便やチャーター便について、これまで長崎に関しては、認識は深くなかった。できれば、台湾の旅行会社を経由してもいいし、台湾の日系デパートの三越デパートなどにおいて、有名なおみやげやおいしいものは何があるか、それを台湾の国民に強くアピールしたらお客様がもっと増えるのではないかと思います。
- ・弊社は台北だけでなく台中にも空港がありますので、もう少し台湾の南側の国民にアピールしていきたいし、アピールして欲しいと思っております。台中だけでなく台南、高雄のお客様も増やしていきたいと思っております。



### ○意見交換(要旨)

Q: 福岡の空港が相当混んできて枠が少なくなってきたが、一方長崎では24時間運用を検討している。24時間運用が出来たときには、評価していただけるのか。福岡と長崎は1時間ちょっとで非常に近いと思っている。

A: 私は、こちらの会社に入る前は中華航空のジャパンマーケティング事業部に勤めていた。中華航空の九州に飛んでいる便数は、鹿児島は週3便、福岡は9~14便だ。マンダリン航空のチャーター便は、大分県と長崎に出していた。あとは高雄から熊本までのチャーター便も出した。九州の中で最も難しいところは佐賀県だ。九州は7県あって、その中の6県は既にフライトしている。台湾人にとって九州の一番のメリットは、距離が短いことだ。

- ・長崎に関しては、2つの問題がある。1つは、観光のスポットや名産物を、台湾ではあまりアピールできていない。だから台湾では長崎をあまり深く認知していない。例えば、日本で長崎県は、海岸線の距離が日本で2番目(一番は北海道)だが、台湾の旅行会社は、そういうことをアピールしていない。



とても残念なことだ。台湾の人が長崎ですぐに思い出すのは、ハウステンボスとカステラだけだ。台湾と日本は正式な国交が無いために、積極的にアピールすることはなかなか難しいと感じていると思う。熊本県は、高雄市と姉妹都市を締結しているが、長崎は台湾と姉妹都市の締結をすることはないでしょうね。

- もう1つは、長崎県民は140万人いるが、もっとも多い旅行先は韓国(ソウル)や上海だ。あまり台湾には来ていない。九州の観光に関しては、かなり競争が激しいので、長崎以外の他県の関係者がよく台湾に来て相談している。彼らはとても積極的だ。九州だけじゃなくて、東北地方も商談によくこちらに来ている。
- 定期航路に関しては、互いに協力しなければならないと思う。まずはチャーター便から始まり、定期チャーター便、そして定期航路に進んでいこうと思う。
- 長崎のアピールについては、もう少し特徴的に台湾の人に紹介してもらいたい。例えば、桜、花見に関しては、東京行っても花見はできるだろうし、北海道でも可能ではないか。温泉といっても、北から南までそれぞれ温泉がある。だから台湾人はどこに行くか、長崎の特徴を強調しないと台湾の人はわからない。台湾から日本への旅行者は300~400万人いて、初めて日本に行く人は少ない。だいたい十何回も行っている。だから彼らには、もうちょっと長崎の良いところ、例えば先ほどの美しい海岸線あたりは、もっとアピールしてはどうか。

Q:親会社のCIさんは4つの県で定期便を出されているが、御社は九州でチャーターしかない。これは、仕事の棲み分けとか、そういったものがあるのか。あるいは、条件が合えば定期便を出せるのか。

A:シェアに関しては台北と高雄だ。(条件が合えば)定期便は検討していきたい。

#### ○坂井代表幹事挨拶

- 今日は大変お忙しい中、本当に貴重な時間をありがとうございます。今まで長崎県は製造業を中心とした産業を重点的に施策として進めていました。今後は観光に力を入れようという形で長崎県は知事をはじめ大変力を入れているところです。
- 今後経済界としても観光業をメインに打ち出して、いろんな活動をしていきたい。今回はそのスタートの時だにご理解ください。
- 何か色々あれば、我々経済界は一緒になって是非定期便を長崎に運行していただくようにいろんな活動をいたしますので、よろしくお願いします。



### 3. タイガーエア台湾訪問

日時 平成28年4月25日(月) 16:30~17:00

場所 台北市敦化北路405号123巷3弄

相手方	最高執行役員	黄 愛玲(コウ アイレイ)
	本部長	Eric Lee(リ エリック)
	部長	林 友清(リン ユウセイ)
	次長	蕭 依芬(ショウ イブン)
	役員	洪 政熙(コウ セイキ)
	役員	黄 亭維(コウ テイユイ)

#### ○宮脇団長挨拶(要旨)

- ・長崎県がある九州地方は、熊本県を中心として地震災害に見舞われています。台湾の皆様から暖かいご支援を頂いており、誠にありがとうございます。地震が少し長引きそうな気配がありますが、徐々に余震も落ち着いてきて、交通・インフラを中心に復興活動が始まっています。九州新幹線は4月28日から高速自動車道も4月末には全面開通する見込みです。
- ・タイガーエア台湾は、2013年に設立されたチャイナエアライングループのLCCとして、日本6都市と台湾を格安でつなぎ、わが国への台湾からの観光客の送客にご尽力をいただいております、厚く御礼申し上げます。
- ・今回の訪問目的は、私たち長崎経済同友会が長崎県の経済活性化のために取り組んでいる長崎空港の運用時間延長に関連し、御社の長崎への定期航空路線就航について、その可能性があるのかどうか、定期航空路線化にはどのような問題があるのか忌憚のないご意見・ご助言をいただくことです。
- ・本日の訪問が、今後の長崎県と台湾との交流拡大の着実な一歩となりますよう、また、御社のますますのご発展と皆様方のご健勝を祈念いたしまして訪問のご挨拶といたします。



#### ○黄最高執行役員挨拶

- ・皆さん、お越しくささいましてありがとうございます。日本には今まで6つの都市に飛んでいて、今年6月29日から仙台にも飛行機が飛んでいくことが決まりました。

#### ○意見交換(要旨)

Q:御社で、福岡以外の九州に路線を探されている、あるいは九州以外で探されている場合に、長崎をどうお考えか。

A:フライトに関して今年の予定は既に決まっています、来年あるいは将来にかけては、これから検討していきたい。

Q:長崎では、是非台湾からの便を長崎空港へ持ってきてほしいことから、今日はミッションで経済団体として来た。ただ、長崎は魅力ある都市のイメージは無いようで、我々の働きかけの少なさを反省している。

御社のなかで長崎はどの程度話題になっているのか。

A:長崎に居たことが2回あるが、やはりハウステンボスを見に行った。九州では長崎も魅力的な都市であることは認識している。

Q:台湾の方々に来ていただくと同時に我々も台湾に来ることが必要と思うのだが、まず長崎に来てもらうために一番我々がすべきこと、例えばPRが不足しているとか、台湾に来て色々な長崎の行事をすとか展示会をやるとか、そういうことで知名度を上げるためにどうすればいいと思われるか。

A:フライトに関しては、お互いの状況は考えないといけない。弊社は台湾発ではなくて、実際は東南アジアも含めて台北経由で日本に行くお客様がいるので、乗り継ぎのお客様も含めて考えた方がお客様は増加するのではないかと。あとは、季節、旅行シーズンも検討したほうがよい。



Q:長崎空港は今度運用時間を24時間にしようということで、今働きかけている。乗り継ぎのお客様のことも考えて、24時間化というのは御社にとって魅力があるか。

A:24時間化は営業に関してはメリットがあると思うが、タイガー航空を利用されているお客様は、どの時間帯に日本に到着するか、それが一番のポイントだ。例えば、長崎空港に着いてあとどれくらい観光や遊びの時間があるか、もし空港についてもそのままホテルに行くようであれば、お客様はいやな感じになるだろう。逆に長崎からのお客は、台湾に夜遅く到着しても、台湾は夜市があるのでいやにならないだろう。メリットがあって売りポイントがあれば、お客様は増加するのではないかと。

Q:逆に朝早く長崎に着いて夜遅く長崎から帰る、こうすると一杯お客様は時間を使えると思う。併せて、週に2便長崎、例えば週に2便大分、これを組み合わせることで、ツアーのいろんなバラエティが作れると思うのだが、そういう考えはどうか。

A:朝到着した飛行機が夜まで待つことはできない。それに関しては無理だと思う。長崎に到着したら1時間以内に、そこから出ないといけない。

Q:長崎から朝出るお客様が必要だし、逆に夜長崎に戻ってくるお客様が必要。インバウンド、アウトバウンドが相互に必要なということか。

A:その通りだ。先程言われた大分、長崎のケースは可能性があると思う。24時間化することは、とても素晴らしいことだと思うが、弊社の経験では、大阪の関空は24時間営業していたが(チェックインの手続きなど)人手が足りない問題がある。

Q:8機を全部使って、6月29日には仙台に就航させる。その8機で既に手一杯で余裕は全く無いということか。

A:8機の飛行機があって日本に飛んでいるが、夜の時間に可能性があると思う。

Q:夜と長崎を組み合わせるのはどうか。例えば、東南アジアから来る場合、夜行便で来ている。そこをうまく活用できるような方法はないか。

A:日本に飛ばす飛行機は新設しないといけない。でも時間がかかる。6カ月から9カ月前に、事前に申込みをしないといけない。9機目は今年の6月に仙台に飛んでいく。10機目のほうは、来年の1月にくる予定だ。

Q:それは台湾国内の手続きで6カ月から9カ月必要なのか。

A:日本の国交省への手続きに必要な期間だ。LCCだからということではない。

Q:福岡に週5便飛んでいる。さらに2便増やすような計画があると聞いたが。

A:福岡は3月末から毎日飛んでいる。

Q:10機目の来年1月というのは、どこに飛んでいくのか。長崎ではないのか。

A:ちょっと教えられない。

Q:今は機材の余裕が無いということだが、今後機材に余裕が出来れば、定期便じゃなくてチャーターフライトの考えはあるか。

A:チャーター便は、要望があったらエージェントを経由して、話しはできると思う。ただし、弊社からチャーター便をやったことはない。今年の2月は、台湾の旅行会社からの要望があって、新潟へチャーター便を飛ばした。これからは、台湾の旅行会社から経由した話しであれば進んでいくかもしれない。例えば、仲秋の名月とか、紅葉を見に行くとか、そういうキャンペーンがあれば、台湾のエージェントを経由して弊社で話しが進んでいくと思う。

Q:日々業務が発展されていて羨ましい限りだが、半年後にもう1機増やす計画はあるか。

A:今の希望としては、3年間のうちに12機に増やしたい。12機はA320の形式で、180席ある。弊社の飛行機の平均年齢は1.5歳で、全く新しいものだ。

Q:11機、12機目のプランはまだ決まっていないのか。

A:既に計画している。

Q:3年間もう決まっている、使い方も決まっているということか。

A:12機は2017年までの計画がある。ただ、何か要因があれば、変更の可能性もある。例えば、お金の援助とか、そういうことがあれば変更することも考えられると思う。



## ○坂井代表幹事挨拶

- 今日はお忙しい中、時間をおとりいただきましてありがとうございます。我々は経済団体でのミッションでして、今日はいろんなお話を聞かせていただきました。
- 経済界としても、お聞きしたことを活かしていろいろ活動をしたいと考えています。
- 長崎を絶対お忘れないように、よろしく願いいたします。何か思い出して、こんなことをしたら長崎に便を飛ばしてもいいぞ、といったことがありましたら是非情報をいただければ有り難いと思います。



#### 4. 雄獅(ライオン)旅行社訪問

日時 平成28年4月26日(火) 13:30~1500

場所 台北市内湖區石潭路151號

相手方 日本旅行商品募集ツアー部門

副総経理兼東京ライオン責任者	林 明華(リン メイカ)
スペシャルインタレストツアー課長 兼 JWIMマーケティング営業課長	高 蕙怡(コウ ケイイ)
JWIMマーケティング 営業担当	陳 秋蘋(チン シュウヒン)

##### ○林副総経理挨拶

・本日はお越しいただき、誠にありがとうございます。今回の訪問で今後の交流が深まれば幸いです。この1週間、熊本の地震がニュースで取り上げられていますが、長崎の方は無事でしょうか。地震があるとはいえ、あらためてコースの行程を組みたいと思っています。



##### ○宮脇団長挨拶(要旨)

- ・本日は大変お忙しい中を、私達台湾視察団のためにお時間を作っていただきありがとうございます。今、長崎県があります九州地方は、熊本県を中心として地震災害に見舞われています。台湾の皆様からも色々とおたたかいご支援を頂いており、大変感謝しております。まだ安心して外国からのお客様にお越しいただける状況ではありませんが、徐々に余震も落ち着いてきており、交通・インフラを中心に復興活動が始まっています。九州新幹線は4月28日から高速自動車道も4月末には全面開通する見込みとなっております。
- ・ライオン旅行社には、台湾を代表する旅行社として、長崎県観光連盟とも良好な関係を有し、台湾から長崎県への観光客の送客に大変ご尽力いただいております、厚く御礼申し上げます。
- ・今回の訪問目的は、長崎経済同友会が長崎県の経済活性化のために取り組んでいる長崎空港の運用時間延長に関連し、チャイナエアライングループ各社との意見交換を行うとともに、送客に力を持つ御社も訪問し、長崎県への送客に関する忌憚のないご意見・ご助言をいただくことです。
- ・本日の訪問が、今後の長崎県と台湾との交流拡大の着実な一歩となりますよう、また、御社のご発展と皆様方のご健勝を祈念してご挨拶とします。

##### ○長崎県の現況説明(長崎県観光推進課 内藤課長補佐)・・・内容省略

(高課長発言)

- ・昨年もクルーズを貸切り、送客した。 ・レモンステーキはとてもおいしいが紹介が無かった。
- ・長崎ペンギン水族館は、昨年親子のツアーを作った。好評だったので、今年も開催する。
- ・島原のイルカウォッチングは、今年のテーマツアーでそのコースを作った。
- ・壱岐、対馬にも送客した。すごくいい場所だ。ウニも料理も美味しいし、人々の人情も暖かい。

○長崎空港の現況説明(長崎空港ビルディング㈱ 吉岡主任)・・・内容省略  
(高課長質問)

Q:今年、台北と長崎のチャーター便はありますか

A:今年および来年の予定は無い。是非ご相談させてください。

Q:福岡空港は長崎県に近いが、長崎県のバスは入れない。福岡県のバスしか使えないので不便だ。今、海外の人は日本が大好きだなので、前向きに検討してもらいたい。

A:長崎はクルーズ船が多くてバスが不足しているが、その際は、県外のバスは都度営業許可を取れるようになっている。チャーター時のバス利用では、是非相談してください。

○意見交換(要旨)

Q:長崎空港の24時間化により、海外からのインバウンドをいかにして増やそうかということで、今回台湾を訪問した。昨日CIさん、マンダリンさん、タイガー台湾さんの3社を訪問したが、チャーターの為にはインバウンド人数とアウトバウンド人数の確保が大事だと言われた。

・今後台湾から長崎に送客してもらおうにあたり、私達がどういうことをやったらいいのか、何が足りないのか。昨日聞いた話では、長崎で知っているのは、ハウステンボスとカステラの2つだけだった。どういう情報を発信をしないといけないのか、県はどうゆうことをやって欲しい・規制緩和をして欲しい等、そうした意見を聞かせて欲しい。

A:熊本地震により、熊本・阿蘇に行く行程は、福岡・長崎・佐賀に変更した。地震の影響で九州へのツアーは約半分キャンセルになった。先週末は、台中の旅行博があつて弊社も九州発のツアーを販売した。

・台湾人の長崎に対するイメージは今のところ、ハウステンボスとカステラしかない。弊社もマーケティング会社があり、主に日本の自治体を台湾でPRする会社なので、利用して下さい。弊社のJWIマーケティングは他社と違って、PRだけでなく、送客も行う。JWIマーケティングは、中国の自治体と連携して台湾のライオントラベルの店舗にイメージ店舗を作っている。

・1昨年はハウステンボスと連携して、ライオントラベルの店舗でハウステンボスのイメージを作った。長崎というイメージの店舗を作ったらHTBやカステラ以外に特徴的なものをPRすることが可能だ。ライオントラベルは台湾に74店舗あり、1店舗は24時間営業だ。その店舗は業績も良いので、その店とイメージ店舗を連携させれば、長崎への送客にお役に立てると思う。これからもチャーターのことは考えていきたいと思う。PRとチャーターを一緒に組めば、効果が出ると思う。

Q:JWIとのコラボ、それからライオントラベルの24時間店舗との協力、この両方とも可能ということか。

A:可能だ。

Q:JWIマーケティングは日本に支店があるのか。

A:今年7月に東京に事務所を開設する。ライオントラベルは東京ライオンがあるので、そちらに連絡しても大丈夫だ。



## 高課長説明(要旨)

・島原半島は、お土産屋やクッキー屋がとても有名で、クルスのワッフルはすごく美味しい。しかし、先程の説明資料には載ってなかったので、海外の人は知らない。中国や東南アジアなど海外の人は好きになると思う。長崎空港では売っているが福岡空港では売っていないので、お土産はカステラだけだ。私からすれば、カステラだけでなくそのワッフルもすごく良いと思う。

・飛び魚(アゴ)の一夜干しはすごく美味しい。ビールや日本酒と一緒に売れると思うのだが、これらは台湾の資料に載っていない。一夜干しは

魚なので、海外の人は持って帰られないと思ってしまう。干した魚はおやつになるので、全然違う。

・長崎の人は、何がすごく有名で、何がおいしいのか把握することが大事だ。皆さんが好きなものは、海外の人も7~8割方は好きだと思う。

・空港の説明で紹介された白い恋人、ロイスは全部北海道のものだ。北海道と比べられる長崎のものは、じゃがいもだ。島原半島のじゃがいもはすごくおいしい。「ほくほく」、「もちもち」感がとても良い。海外の人に、これは食べさせたい。

・佐世保のハンバーグはすごく有名だ。日本一のハンバーグは佐世保だといわれているが、海外の人は知らない。だから紹介して欲しい。

・観光地に関しては、日本人と海外の方が好む場所はちょっと違う。少し研究が必要だ。



Q: 高さんは、何故そんなに長崎をご存じなのか。

A: 旅行社は25年目だが、7年間はラジオ局の番組プロデューサーで、旅行とグルメを担当した。台湾人は食べるのが好きだ。何を食べるか、そのために何処を旅行したいか、そういう観光客が多い。

Q: イメージ店舗といわれが、どんな店舗なのか。

A: 九十九島の夕日はきれいだが、そうしたロマンチックなイメージを長崎県は作っていない。九十九島の夕日の写真を見ると素晴らしいと思う。

・ペンギン水族館も同じ。海外でも水族館はあるが触ることができないので、私達は昨年台湾でPRした。口コミもすごく大事だ。島原のイルカウォッチングも良いので、イルカが飛び出した写真を使いたいし、併せて食べるものや興味を引きそうなものも使いたい。

・台湾の方が長崎に行こうとしたら、今は旅行社に聞くしかない。あとはブローカーやインターネットで調べてみるしかない。そういうイメージ店舗があったら、長崎の魅力を十分に伝えることが可能だ。この店舗は、長崎県観光連盟の1つのツールかもしれない。

Q: 教会とか原爆は観光の資源にならないか。

A: 原爆は多分欧米人が好きだと思う。東南アジア、中国、シンガポールの方は、そんなに興味を持っていないだろう。台湾人は歴史が好きだが、目的を持った旅行はあまりしない。軍艦島の世界遺産登録決定時は100人ぐらい送客できたが、その後はそれ程人気がない。ホットな話題のうち、人気があるが、長続きしない。

・台湾は教会に関して少し厳しいところがあるので、長崎で一度に何カ所も回ることはできないだろう。

Q:長崎はハウステンボスとカステラだけのようだが、熊本や福岡は何を売りにしているのか。

A:福岡は今なら「一蘭」ラーメン。また、大きなまちでは、便利なのが一番大事だ。台湾のFITは必ず便利な場所に行くし、福岡から他県にも行く。

・熊本はクマモンがすごい人気だし、阿蘇もすごく有名だ。あと2カ所紹介しないとイケないが、1カ所は教えられない。もう1つは人吉で、多分、台湾人も好きだと思う。人吉は、鹿児島空港からそんなに遠くない。

#### 林副総経理説明(要旨)

・ライオントラベルでは、来年の旧正月に大型プロジェクトを企画している。台湾人が日本に行って、旧正月を日本で過ごすというものだ。今のところ、北海道、関西、関東、九州から1カ所を選んで送客する予定だ。旧暦の31日、大晦日、1日そして2日に開催予定だが、必要なのはホテルのキャパだ。よければ長崎にも送客したい。まずはホテル等の情報を教えてもらいたい。(来年1月27日から)

・旧正月は台湾人にとって重要な休暇なので、この季節に送客できれば、その地の人気も高まると思う。他の旅行社はやっておらず、ライオントラベルが初めだ。7月末に内容を決めて、9月には公表したい。

#### 高課長説明(要旨)

・2年前は富裕層のお客様を送客し、半水廬(雲仙)に泊めて、ランタンではなく夜景を見てもらった。雲仙に泊まる場合は、運転手の勤務時間とか課題になる。バスは、島鉄バスの利用も検討したいと思う。



#### ○坂井代表幹事挨拶

・本当に有意義な時間をありがとうございました。今日のお話しで我々も台湾との交流を深められるなと感じました。ここには、長崎県観光連盟の会長も専務理事も来ていますし、我々経済界としても一所懸命バックアップしながら、今日のお話しを必ずものにしたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いします。

## 5. 可樂(コーラ)旅行社訪問

日時 平成28年4月27日(水) 10:00~11:30

場所 台北市南京東路2段98號6樓

相手方	総経理	謝 雲苗(シャ ウンミョウ)
	専務	邱 昆墀(キュウ コンシ)
	副部長	陳 玉玲(チン ギョクレイ)
	財務部長	胡 渝湘(コ ユコウ)
	主任	游 恬懿(ユウ テンイ)

### ○謝総経理挨拶

・ここに来て頂いて、誠にありがとうございます。  
弊社と皆様は、もう友達ではないかなと思っています。  
弊社の紹介はこの説明書を使って説明させていただきます。

(内容省略)

### ○宮脇団長挨拶(要旨)

- ・只今、謝さん自ら可樂社の現状や台湾の観光事情について、説明いただきありがとうございます。熊本県を中心として地震災害に見舞われていますが、台湾の皆様から暖かいご支援を頂いており、大変感謝しています。まだ、安心して外国からのお客様にお越しいただける状況ではありませんが、徐々に余震も落ち着いてきています。九州新幹線が今日の午後から、高速自動車道も4月末までには全面開通する見込みとなっています。
- ・コーラ旅行社は、台湾の大手旅行社として、長崎県観光連盟とも良好な関係を有し、台湾から長崎県への観光客の送客にご尽力いただいております、厚く御礼申し上げます。
- ・今回の訪問目的は、長崎経済同友会が長崎県の経済活性化のために取り組んでいる長崎空港の運用時間延長に関連し、チャイナエアライングループ各社との意見交換を行うとともに、御社を訪問し、長崎県への送客に関する忌憚のないご意見・ご助言をいただくことです。
- ・本日の訪問が、今後の長崎県と台湾との交流拡大の着実な一歩となりますよう、また、御社のますますのご発展と皆様方のご健勝を祈念いたしましてご挨拶いたします。



### ○長崎の観光の現状の説明(長崎県観光推進課 松島係長) (内容省略)

### ○謝総経理意見

フルーツランドはやさしくない。団体の予約がなかなか取れないからだ(団体のお客は断られている)  
⇒本件は県で調査します。

### ○長崎空港の改善点の説明(長崎空港ビルディング(株) 吉岡主任) (内容省略)

### ○意見交換(要旨)

Q:長崎空港の24時間化を進めている。送客をされる皆さんから見て、お客さんの立場から見て、長崎空港の24時間化は何か使える方法があるか。

A: 台湾は問題があって滑走路が1つしか使えない。従ってスケジュールは一杯の状況だ。個人的な意見だが、台北より台中や高雄と連携したほうがよいと思う。

・今、九州の皆さんはがんばって宣伝されている。ただ、あくまで航空会社の選択になると思う。長崎と福岡は距離が近いので、もし航空会社から相談があった場合は、我々は福岡から必ず長崎のルートを入れると思う。大体月平均で100本3000名の送客をしているが、今回の熊本地震は我々にとってもつらい。地震翌日のキャンセルは6,000人だった。先週から台中で展覧会を始めて、うちの会社では「九州がんばれ」というテーマツアーを作った。



Q: 九州の中に8つの空港がある。これらの空港が連携して新しい交流人口拡大ができないか考えている。例えば、大分、熊本、鹿児島とか、イン大分アウト長崎、イン熊本アウト長崎、その逆でも良い。そういったことが将来出来ないかなど考えている。チャーター便になると思うが、観光地を巡って時間を有効に使えるのではないかな。

A: 正直な話し、我々にとってコースは問題ではない。これは、やはり航空会社の戦略だ。航空会社側からすると、長崎INとしたらOUTも必要だ。ただ、単純にINとOUTの異なるコースを組み合わせることは可能だと思う。

Q: 航空会社の都合による路線の問題があるが、航空会社はお客様がいないと飛行機を飛ばせないと言う。そこで相談だが、(航空会社に)プッシュしてもらえないか。

A: 台湾の航空会社は、やり方が強気だ。最初にコースを作って座席数も決めてしまう。

Q: チャーター便を出す時の主導権は、どちらにあるのか。皆さんが商品を作ってチャーター便を飛ばして欲しいという依頼をする場合もあるのか。

A: 台湾と日本の航空路線は、航空会社が決める。旅行会社が商品を作ってやるケースは少ない。特に日本に関しては、航空会社が力を持っている。

Q: 皆さんは長崎県の情報をどうやって入手するのか。

A: 観光客や業者(ホテル、観光スポット、レストランなど)の当地でのPRなどだ。

Q: 月3000人の送客をしているとのことだが、長崎も多いのか。

A: HTB、九十九島、雲仙、島原に送客している。長崎市内への送客は、安定的に部屋を提供されない為、少ない。年間を通じて部屋を提供してもらえないからだ(年間契約できるホテルが無い)。ズバリ言うと、国内優先になっている。

Q: クルーズ船はやっているのか。

A: 1去年はやってしたが、昨年やめた。マンパワー不足が理由だ。

Q:ホテルのほかにバスが確保できないとかあるか。

A:今のところは無い。宮崎県と鹿児島県は、台湾から多くの送客ができるよう観光バスへの補助金制度がある。長崎県も宿泊に関する補助ができれば、我々も努力する。佐賀県は、補助金をもらって嬉野温泉に宿泊するようになった。宿泊人数に応じた補助金が出る(宿泊料金が安くなる)システムだ。

Q:団体客と個人客の比率は？

A:個人の方が少し多い。JR九州との連携はかなり成功している。個人向けパッケージは、弊社もまだ3年ぐらいなので未成熟だ。

Q:台湾の方は体験型が好きなのか。

A:5年のうち年2回のペースで旅行に行くので、同じ目的で旅行はしない。例えば、北海道なら流水の上を歩くとか。東京ならディズニーリゾートだけでなくワンピース、大阪ならハリーポッター、様々な旅行素材の組み合わせが必要だ。おもしろいと感じさせることだ。

Q:台湾の方で、カトリックの教会や歴史に興味を持つ人はいるのか。

A:少ないと思う。

Q:FITは何泊するのか

A:一番多いのは3泊だ。福岡で連泊して他の土地は日帰りのパターンが多い。

#### ○坂井代表幹事挨拶

大変貴重なお話しをありがとうございました。今回は経済団体として観光のことを勉強にきました。台湾からのお客様、あるいは長崎から台湾への送客など、もっと日本と台湾の交流を大きくしたいと考えています。今まで日本の中で長崎は観光のまちとして名が通っています。そういうこともあって、長崎県の産業という位置づけでは、経済界はものづくりに注力していたが、観光はそうでもなかった。

今後は長崎県、佐世保市等の自治体と経済界が一緒になって観光産業を伸ばそうという方向性が一致しています。経済界も観光産業の育成に取り組んでいきますので、何かありましたら、自治体に言えないことは経済界と言ってもらえれば、具体的に要請も可能ですので、経済界をご活用ください。



## 6. 台湾経済界等との夕食会

日時 平成28年4月25日(月) 18:30~20:30

場所 台北市承德路一段3號

パレドシンホテル17階 頤宮中餐廳内君臨庁

来賓 中華民國工商協進会 顧問 (前駐大阪総領事)

公益財団法人交流協会 台北事務所 代表

可楽(コーラ)旅行社 副総経理

吳 嘉雄(ゴ カユウ)

沼田 幹夫(ヌマタ ミキオ)

王 偉民(オウ イミン)

(公財)台北事務所沼田代表講話 (概要)

- ・長崎県との関係はかつて高田知事の時代に2回来崎経験あり。当時佐世保市長は棧市長だった。長崎に中国総領事館を招致したいとの相談を受けたことあり。
- ・台湾における対日世論調査を最近実施したが、「世界でもっとも好きな国はどこか」との質問に対し、「日本」と答えた割合は断突でトップの56%(3年前は同じく1位で43%)、次いで中国、アメリカ、シンガポールと続く。
- ・台湾からの訪日客は約368万人(2015年)であり、6人に一人が日本を訪れているのに対し、日本から台湾への訪問は約163万人(2015年)と100人に一人の換算である。
- ・世論調査で「世界で最も影響力がある国はどこか」との質問に対し、半数以上が「中国」と答え、「アメリカ(31%)」、「日本(11%)」と続く。日本は差し詰め、金も力もないジャニーズ系といったところ。
- ・「一中各表」との表現があるが、台湾は大陸との関係を今後どうするのが注目されている。本年1月の台湾総統選挙で、2008年から続く国民党馬英九政権が敗北し、本年5月から民進党の蔡英文政権が誕生する。
- ・馬英九政権では、国民の所得格差が拡大した。一人あたりのGDPは15番目で豪と同じレベル。馬政権は経済成長6%の目標を掲げたが、2.8%に留まった。大陸への門戸開放政策をとることで、台湾経済の4割は中国との関係で飯を食っているといわれている。対外的にも多くの取極を締結し、2011年の日台間の航空自由化(オープンスカイ)協定もそのひとつ。
- ・李登輝さんが、日本と台湾の関係は片思いの関係にあるといわれる。東日本大震災の際に台湾は単独で他国の義捐金の合計をしのぐ額を寄付したにもかかわらず野田政権下で記念式典の献花ができなかったことがあった。
- ・蔡英文新政権が掲げる課題は、少子高齢化、行政効率化、司法改革、経済南方政策であり、クリーンエネルギー、スマートシティ、バイオテクノロジー、スマートシティ、台湾のシリコンバレー創造、サイバー攻撃対策などが主要プロジェクトとして挙げられている。



## 7. 視察を終えて

- 台湾で知名度があるのはハウステンボス、カステラくらいで当県の認知度が相当低いものと認識させられた。これまでも各関係者がそれなりに広報活動をしてきたはずだが、今後は台湾の市場ニーズを把握した効果的な誘客活動が必要である。今回の各社ヒアリングの中では、産業革命遺産や教会群への興味は薄く、夜景、長崎の食、現在も実施されているが体験学習的なメニューが誘客に繋がるものかと思われた。
- また九州内では各県単位で誘致合戦がなされているようであり、補助金の出しあい競争にもなりかねない状況と思われ今後は各県の連携、九州一帯での活動強化の検討が必要である。
- 当地へのインバウンド、当地からのアウトバウンド需要の拡大をまずはチャーター便の増加獲得の中で見込みつつ、福岡はじめ九州各空港との連携も含めた誘客が定期便開設への道筋と思う。
- 改めてインバウンド対策においては、相手国別に現地ニーズに基づいた商品開発、PRが必要であり、その対応にはDMOのような組織を組成し柔軟で機動的な戦略構築、活動が欠かせないことを再認識した。

# 視察写真集



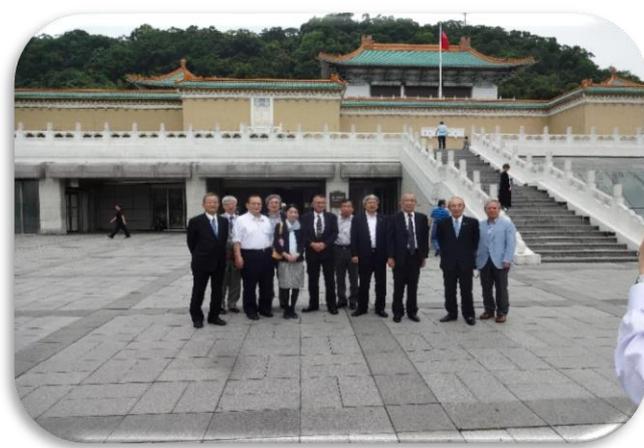
マンダリン航空にて



忠烈祠にて



タイガーエア台湾にて



故宮博物院にて



ライオン旅行社にて



九份老街にて



コーラ旅行社にて